



IAY日本語教師養成講座 修了生の声!



山本先生(台湾の日本語学校勤務中) 第32期修了生です!

Q1 日本語教師になろうと思ったきっかけ

以前北京に留学したときに「日本語を使って外国で生活してみたい」と思ったことと、その時のクラスメートに50音や簡単な日本語を教えたことがきっかけです。

Q2 どのようなクラスを担当しているか

現在は初級を中心に担当しています。小学5年生から社会人まで幅広い年齢層の学生さんに教えています。



Q3 日本語教師はどんな仕事

授業準備では日本人が学生時代に国語の授業で習わなかったことの発見をすることが多く、日本人が普段何となくしていたことが外国では日常なことじゃなかった・・・等の発見をすることが多く、楽しく充実疲れの生活を送ることができる仕事です。

Q4 IAYの養成講座で学んだことはどんなところで役立っているか

文法(特に動詞や形容詞の変化)の教え方や、講座中に講師の方に勧めていただいた本が実際の授業を進めるうえでの参考になり、とても役立っています。そして、養成講座で半年一緒に頑張った仲間とも修了後、数年経ってそれぞれが遠くにいても、日本語教師の悩みからプライベートの話まで共有してつながっていけることが何より嬉しいです。

Q5 これから日本語教師を目指す方にメッセージ

どんな仕事でもラクして大金を稼ぐことなんてできないと思います。日本語教師も例外ではなく、授業のためにたくさん時間をかけて準備をして、いざ授業に臨んでも満足のできる授業ができなかった・・・ということはよくあります。以前、私は日本で全く日本語教育と関係のない仕事をしていましたが、全く会社に興味を持たず、とてもつまらなく辛い日々を送っていました。でも現在は台湾という全く日本と違う環境で日本語教師として生活しています!

私にとって台湾で日本語教師をすることは、心の底から『天職』と思っています。プライベートでも色々な新発見がありますが、何と言っても今担当している学生と日本語学習を通してお互いに日本と台湾を理解しあえることが一番うれしいです。そして、日本語教師の養成講座ではどこの国に行っても対応できるように全て日本語で授業を行える方法を鍛えることができます。ですから、言葉がわからない国でも仕事さえあれば教えに行くことができますし、家族の急な海外転勤があっても転勤先ですっとうちにいることもありません。

養成講座に通うことはお金もかかるし、時間もかかるので、決定するのは大変だと思います。でも、私はIAYの養成講座を受けたことで今の私がいるので、後悔していませんし、これからも、この仕事で頑張っていこうと思っています!



2013年1月

IAY インターナショナルアカデミー
日本語教師養成講座